

現場社員の極意

～徹底した安全確認と風通しの良い現場力～

工事でフォークリフト作業を中心に現場を支える黒木さん。日々の業務で最も重視しているのは、安全への意識だといいます。今回は円滑な現場運営を支えるチームワークや、社員を大切にする会社の風土についても併せてお聞きしました！



くろ き かず や

工事部 黒木 和弥さん

安全のために心掛けていること

作業内容や周囲の状況を しっかり把握する

私が日々の現場作業において常に心掛けていることは、作業内容を事前にしっかりと把握することです。現場では、予期せぬ事態が事故につながることも珍しくありません。そのため、朝礼やK Y（危険予知）活動を通じて、その日の手順や注意点を全員で共有することを習慣にしています。

また、現場によっては当社の車両だけでなく、他業者の車両や重機が行き交うことも。そのような環境では、自分たちの安全だけでなく、周囲の作業員の動きにも目を配り、互いに声を掛け合うことで事故を防いでいます。

フォークリフト作業の鉄則を守る

私はフォークリフトに乗って作業を行うことが多いのですが、特に神経を使うのが、フレコンバッグなどの袋をフックに掛ける作業です。袋の重量は、大きなもので約1t。過去には作業中に袋がフックから外れそうになり、ヒヤリとした経験があります。もしその瞬間に荷物が落下すれば、周りの作業員が大怪我をしていたかもしれません。そのような事故を防ぐため、作業員の方には「フックに袋を掛けたら、すぐに安全圏まで離れてほしい」と伝えています。もちろん私自身も、相手が安全な場所に移動したことを確認してから操作を行うという基本を徹底。当たり前の確認を積み重ねることが、現場の安全



質の高い施工のために心掛けていること

衛生と安全を常に意識し、 基本的なルールを守る

私たちが手掛ける浄水場内のろ過池洗浄業務においては、衛生管理と安全確保が品質の要です。水道水に関わる設備のため、入槽時には長靴や道具を次亜塩素酸で消毒し、清潔な状態を保ちます。また、池内は苔で滑りやすく危険であるため、特に若手には足元の注意を徹底しています。転倒を防ぎ、安定した体勢で作業を行うこと。そして衛生ルールを守り、基本を疎かにしないこと。そういった意識が、施工品質の向上にもつながるのではないのでしょうか。



タケミ・コーポレーションの強み

国籍を超えたチームワーク

当社の最大の強みは、作業員同士の仲が良く、現場の風通しが良いことです。私は現在、ベトナム人実習生の管理も担当していますが、日々のコミュニケーションは非常に円滑。こちらが指示を出すだけでなく、向こうからも「こうしたほうが良いのでは？」と積極的に意見を出してくれます。国籍や立場に関係なく、より良い作業のために意見を出し合える。そのような関係性が、困難な現場でもスムーズに業務を進める原動力となっています。



社員を支える社長の思い

当社の働きやすい環境の根底には、社員に対する社長の深い思いやりがあります。私はシングルファーザーとして働いており、子どもの学校行事などで時間の融通をお願いする場面も少なくありません。そのようなときも、社長は私の家庭環境を理解し、勤務時間などを柔軟に変更してくださるのです。私だけでなく、社員一人ひとりの事情に合わせて親身になって考えてくださる社長には、心から感謝しています。「この会社のために頑張ろう」と自然と思えるのは、会社が私たちを大切にしてくれている実感があるからこそ。また、業務に必要な資格取得費用も、会社が全額負担してくれます。技術向上への支援も手厚く、成長意欲を持って働けるところも、当社の大きな強みの1つです。

\ 水道水が「美味しい」理由とは? /

知っておきたい 日本の水資源活用史

世界でも稀な「飲める水」を持つ日本。その水質は、法整備と技術開発によって今も向上し続けています。江戸時代の水道創設から近代の浄水施設整備、そして高度な処理技術がもたらした「水の味」の歴史を紐解いていきましょう!

日本の水の歴史

水道をひねってそのまま水が飲める国は、世界の中でもあまり多くありません。世界の中でも特に水質や安全性が高い日本の飲料水は、どのようにして得られるようになったのでしょうか。ここでは水道の普及や水資源の活用など、日本における水利用の歴史を辿っていきます。

江戸時代に日本初の水道が造られた

日本に水道が初めて造られたのは、徳川家康が江戸幕府を開いたときに造った「小石川上水」です。それ以前は生活用水として、川や井戸の水を汲んで生活をしていました。その後、人口増加や水質の問題などから、現代の水道の原型となるような水道施設が造られたのです。東京には「○○上水」と、「上水」が付く地名がいくつかありますが、これは江戸時代の上水設備の名残です。

明治に入り浄水施設が整備される

明治時代に入ると重化学工業の発展が進み、工業用水の需要が拡大します。しかし、まだ水をろ過する浄水技術がなかったため水が汚染され、衛



生環境の悪化に伴いコレラが大流行しました。このときに死者も拡大したことから、神奈川県「野毛山浄水場」や東京の「淀橋浄水場」、京都の「蹴上浄水場」といった、近代的な水道施設の整備が進むことになったのです。

社会の成長に伴い、 安定的な水の確保を実現

戦後の高度経済成長や人口増加により、生活や工業、農業に使用する水の需要は急増します。そのため、ダムなどの水資源の開発が実施され、安定的に水を確保できるようになりました。また、水の利用に関する法律が整備されたのもこの時期です。

昔より水質が向上し、 美味しくなった水道水

実は、日本の水道水は昔より美味しくなっていることをご存知でしょうか。これは昔よりも水道水の水質が向上したことが理由。では、実際にどの程度向上したのか確認していきましょう。

法整備により、原水の水質が向上した

平成初期頃までは、水道の水源に関する法律が十分整備されていなかったため、水質汚染事故が多発していました。しかし1994年になると「水源二法」が施行されるなど、水質保全への意識がさらに高まっていきます。

実際に、水の味に影響を与える「アンモニア態窒素」と「2-メチルイソボルネオール」の源水水質データの推移を見てみましょう。アンモニア態窒素は塩素と反応することでカルキ臭さの原因となり、2-メチルイソボルネオールはカビ臭さの原因となる物質です。

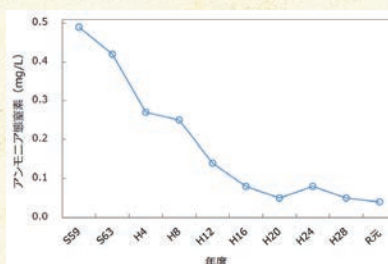
浄水処理技術の向上や施設の整備により、浄水の水質も向上した

平成初期は原水の水質が良くなかったことに加え、浄水処理技術の未熟さや浄水施設の未整備などにより、水の味に対する満足度は高くありませんでした。

そこで、東京都水道局は美味しい水を作るため、1992年(平成4年)から利根川水系の浄水場に高度浄水施設の導入を進めました。そのような努力の甲斐もあり、アンケート調査をしたところ、お客様からの水の美味しさに関する満足度が大きく上昇する結果になったそうです。

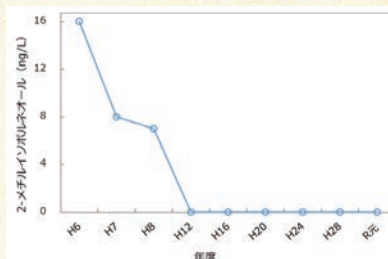


■アンモニア態窒素 年平均值(金町浄水場原水)



アンモニア態窒素は、1984年(昭和59年)から1989年(平成元年)にかけて、量が急激に少なくなっていることがわかります。

■2-メチルイソボルネオール 年平均值(金町浄水場原水)



2-メチルイソボルネオールの年平均值(金町浄水場原水)も、1994年(平成6年)から2000年(平成12年)にかけて大きく減少。それ以降は、正確に量れる分析値の最小値となっています。

■水の味(美味しさ)に関する お客様満足度



社内報の思い出を 振り返る！

ひろ せ たけ み
代表取締役社長 廣瀬 丈巳さん

社内報の発行は今回が最終号となります。
廣瀬社長が社内報を続けてきて良かったと感じていることや、
ご協力いただいたみなさんへのメッセージをお届けします。

社内報をやって 良かったこと

求人の実感、 同業者との交流も

元々「求人のため」にやりだしたのですが、それは成功していると思います。先日、面接した方が「ホームページで存じています」と言ってくれました。この言葉を聞いて、「普通のところには載っていない、社内報にしか載っていない内容を見てくれている」ということがわかったのです。また、同業者や仲間うちの方々も結構見てくれていて、会合の席などで「あれすごいですね」と言われたこともあります。社外からこのような反響があったことは、当社としてもとても嬉しいことで、続けて良かったと感じています！

社内報によって感じた 社員の変化

取材は貴重な経験。 技術を披露する場にも

社員の皆さんも、今まで取材を受ける経験があまりなかったため、最初は恥ずかしさや、どう答えていいかわからないという気持ちもあったと思います。しかし、社内報を通して取材される経験をし、「どう発信し、見ての方がどう捉えるか」ということを考える良い機会になったのではないのでしょうか。自分の仕事のこだわりを話す機会はなかなかないでしょうし、当社の技術的なものを披露できる場にもなりました。みなさんの協力を得て、様々な企画を実行できたことも良かったと思います。

社員へのメッセージ

再開するときには、またよろしくお願いします

電話やWEBのアンケートなどで対応してもらいましたが、面倒だったこともあったと思います。忙しい中、取材に協力してくれてありがとうございました。

今回の最終号をもって一旦お休みに入りますが、もしかしたらまた再開するかもしれません。そのときはまたみんなにお願いすることになりますので、よろしくお願いします。これからも頑張っていきたいと思います。

